

令和6年度

## 第2回

# 市町村長等・議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、様々な行政課題について学び、施策を提案・実施していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「地方行財政」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方からご講演をいただき、改めて現代社会を捉え直すとともに、今後のわがまちの未来や地方行政に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

### 開催要領

日 程

令和6年7月29日(月)～7月30日(火) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市町村長・副市町村長及び部長級職員、市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講 170人 ※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 50人 ※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」とともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、**先着順**とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

来所受講:7,300円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講:2,000円

申込期限

令和6年6月10日(月)まで

※**先着順**のため、申込期限前に締め切らせていただく場合がございます。

申込方法

◎JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

◎**議員の方は、議会事務局を通じて**、お申込みください。

◎来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、**どちらか一つのみ**お申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和6年

7月  
29日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

13:00~

開講式・日程説明

13:15~14:45

講義 曖昧な弱者とその敵意~社会分断の新たな構造~

成蹊大学文学部現代社会学科 教授 伊藤 昌亮 氏

15:05~16:35

講義 ともにいきる

未来につなぐ みんなでつくる「健康しが2.0」

滋賀県知事 三日月 大造 氏

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:30

講義 「労働供給制約社会」への処方箋

リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋 星斗 氏

10:50~12:20

講義 こどもたちの生きる力を育む~[COLOMAGAプロジェクト]の活動の軌跡~

COLOMAGAプロジェクト本部事務局長/伊豆市版KURURA事務局 高橋 いづみ 氏

12:20~12:30

閉講、事務連絡

令和6年

7月  
30日(火)

## 講師紹介

成蹊大学文学部現代社会学科 教授 伊藤 昌亮(いとう まさあき)氏

1961年生まれ。東京外国語大学外国語学部卒業、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。日本IBM、ソフトバンク株式会社勤務、愛知淑徳大学現代社会学部准教授、フリードリヒ・アレクサンダー大学日本学講座客員研究員などを経て、2015年より現職。専門はデジタルメディア論、とりわけソーシャルメディアと社会運動、集合行動との関わりを研究している。著書に『炎上社会を考える』(中央公論新社)、『ネット右派の歴史社会学』(青弓社)、『デモのメディア論』(筑摩書房)、『フラッシュモブズ』(NTT出版)、近著論文に「“弱者男性論”の形成と変容」(『現代思想2022年12月号』青土社)など。

滋賀県知事 三日月 大造(みかづき たいぞう)氏

1971年生まれ。滋賀県出身。一橋大学経済学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)に入社。広島支社にて駅員、電車運転士や営業スタッフなどに従事。1999年11月西日本旅客鉄道労働組合(JR西労組 JR連合)中央本部青年女性委員長に就任。2002年4月(財)松下政経塾入塾(第23期生)。2003年11月に衆議院議員(民主党)に初当選。以降4期連続で衆議院議員を務め、観光・住宅・国土・交通等をテーマとした立法に関わるとともに、2009年9月民主党政権下において国土交通大臣政務官、国土交通副大臣などを歴任。2014年7月、滋賀県知事に就任。現在3期目。「琵琶湖とくらしを守る。三方よしで笑顔を広げる。豊かな未来をともにつくる」を滋賀県職員の方針(パーパス)に掲げ、「いのち」を大切に、誰もが自分らしく、お互いを慈しみ、支え合う「健康しが」づくりに取り組んでいる。特に、子ども・教育(次世代)、ひとづくり、持続可能な農業・農村、産業立地とイノベーションの推進に力を入れるほか、2024年度にはローカル線「近江鉄道」の維持存続に向け、沿線市町と一体となって公有民営方式を実現、さらに地域公共交通を充実させるため、交通税を含めた財源づくりの議論を進めている。

リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋 星斗(ふるや しょうと)氏

2011年一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻修了。同年、経済産業省に入省。産業人材政策、投資ファンド創設、福島復興・避難者の生活支援、政府成長戦略策定に携わる。2017年より現職。労働市場について分析するとともに、若年人材研究を専門とし、次世代社会のキャリア形成を研究する。一般社団法人スクール・トゥ・ワーク代表理事。法政大学キャリアデザイン学部兼任教員。著書に『ゆるい職場—若者の不安の知られざる理由』(中央公論新社)、『働き手不足1100万人』の衝撃』(プレジデント社)ほか。

COLOMAGAプロジェクト本部事務局長/伊豆市版KURURA事務局 高橋 いづみ(たかはし いづみ)氏

《COLOMAGAプロジェクト》 地元の子どもたちが自分たちの住むまちを取材して、プロクリエイターの指導を受けながら文章を書き、イラストを描き、写真を撮り、プロのデザイナーが誌面をデザインして地域情報誌(ローカルマガジン)を作る活動。参加した子どもたちの創造力とシビックプライドを育む。2012年にクリエイターの浅井由剛氏を发起人として、静岡県伊豆市でスタートした。現在は、東京都・静岡県・山梨県・長野県・大阪府等、準備中を含め1都2府17地域に拡がり「COLOMAGAプロジェクト本部」(非営利団体)と連携を取りながら各地でプロジェクトチームが活動を進めている。

《高橋 いづみ氏》 東京都荒川区出身、関東の各地で暮らしたのち、1997年に伊豆に移住。沼津市や伊豆の国市を経て、現在は伊豆市在住。特定非営利活動法人NPOサプライズに所属したことがきっかけで、COLOMAGAプロジェクト発祥となる「KURURA」の制作活動に携わり、子どもたちとともに毎年作り続けた「KURURA」は、2024年にはvol.12を数える。現在は「COLOMAGAプロジェクト本部」事務局長を務めるほか、ふじのくにしずおか観光振興アドバイザーなども務めている。